

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の646億1,720万5千円に比べ、3億3,383万円8千円、0.5%の増となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	平成17年度 当初予算額 (A)	平成16年度 当初予算額 (B)	比 較	
			増 減 (A) — (B)	伸 び 率 (A) — (B) / (B)
病 院 事 業	21,779,885	21,925,833	△145,948	△0.7
水 道 事 業	24,454,650	24,851,528	△396,878	△1.6
工業用水道事業	12,367,471	13,032,479	△665,008	△5.1
電 気 事 業	6,349,037	4,807,365	1,541,672	32.1
合 計	64,951,043	64,617,205	333,838	0.5

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

平成16年度から18年度までの3ヶ年の県立病院のビジョンと経営方針及び具体的な行動に向けた取組を示す「三重県病院事業中期経営計画」を着実に実践することにより、県立病院としての役割・機能を果たし、県民から求められる良質な医療を継続的に安定供給できるように努めます。

このため、平成14年度から導入した新しいマネジメントシステム（バランス・スコアカード）の定着を図り、経営方針の徹底、全職員参画型の経営を推進するとともに、病院ごとの経営の自立化を図ります。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 1,286床

(イ) 患者数

	年 間	1日平均
入院患者数	423,035人	1,159人
外来患者数	439,519人	1,809人

イ. 収益的収支 収入 19,340,303千円 資本的収支 収入 1,680,784千円
 支出 19,187,116千円 支出 2,592,769千円

平成17年度の主要事業としましては、本県における総合的な緩和ケアの推進に向けて、緩和ケア病棟や県内医療スタッフの研修機能などについて調査を行います。

また、総合医療センターにおいては県内公立病院としては初となる電子カルテシステムの整備を、こころの医療センターにおいては急性期病棟の保護室増築を、志摩病院においては外来棟建替整備を推進します。

収益的収入は、入院収益、外来収益などの医業収益162億991万4千円、他会計補助金、負担金などの医業外収益31億3,038万9千円です。

一方、収益的支出は、職員給与費101億2,266万5千円、薬品費などの材料費36億3,044万1千円、事業運営経費27億1,655万8千円、施設・器械備品などの減価償却費15億4,109万2千円等の医業費用181億3,463万7千円、支払利息などの医業外費用10億5,247万9千円です。以上の結果、収支差引で、1億5,318万7千円の当期純利益を計上しております。

次に、資本的収入は、県費負担金8億6,878万4千円、企業債8億1,200万円です。

一方、資本的支出は、志摩病院の立体駐車場建設、こころの医療センターの保護室増築等のための病院増改築工事費で7億2,663万円、各病院の医療機器購入など資産購入費5億4,905万3千円、企業債償還金12億1,708万6千円及び投資有価証券購入費1億円です。

(2) 水道事業会計

水道事業は、津市、松阪市及び久居市を含む3市5町1村を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、四日市市、桑名市及び鈴鹿市を含む3市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量137,700m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市6町1村を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量169,150m³）による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。

また、北勢地域の水需要に対応するため、長良川河口堰を水源とした北勢広域水道拡張事業を、また、伊賀地域の水需要に対応するため、川上ダムを水源とした伊賀広域水道建設事業をそれぞれ実施します。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 76,406,321m³

1日平均給水量 210,485m³

イ. 収益的収支	収入	11,805,533千円	資本的収支	収入	9,372,621千円
	支出	11,165,665千円		支出	13,288,985千円

収益的収入は、給水収益111億1,433万2千円とその他営業収益を合わせた営業収益111億1,967万7千円及び一般会計補助金6億8,368万2千円等の営業外収益6億8,585万6千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用81億3,212万5千円と支払利息等の営業外費用30億3,154万円が主なものです。以上の結果、収支差引6億3,986万8千円の利益を計上しました。

次に、資本的収入は、伊賀広域水道建設事業等に充当する企業債57億2,300万円や一般会計出資

金27億4,355万4千円及び国庫補助金8億9,104万7千円が主なものです。

資本的支出は、北勢広域水道拡張事業等の建設改良費49億5,025万6千円と企業債等の償還金83億3,872万9千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北勢水道の改良事業のほか、北勢広域水道拡張事業、伊賀広域水道建設事業を実施することになっています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H17	1,191,052	1,191,052	既設設備の改良
北勢水道改良事業	H17	335,693	335,693	既設施設の改良
北勢広域水道拡張事業	H10～22	36,100,000	292,783	目標日量47,600m ³
伊賀広域水道建設事業	H10～20	27,927,000	2,726,965	目標日量28,750m ³

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力830,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）、松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）及び多度工業用水道（1日給水能力10,000m³）により、工業用水の供給をしています。

また、県下の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等の既存施設の計画的な改良工事を実施します。

ア. 業務の予定量

(ア) 給水会社数	87社
(イ) 年間総給水量	224,624,140m ³
1日平均給水量	615,408m ³

イ. 収益的収支	収入	6,435,625千円	資本的収支	収入	4,209,597千円
	支出	5,888,717千円		支出	6,478,754千円

収益的収入は、給水収益58億4,539万5千円とその他営業収益を合わせた営業収益64億2,904万4千円及び受取利息等の営業外収益658万1千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用49億4,247万8千円と支払利息等の営業外費用9億4,423万9千円が主なものです。以上の結果、収支差引5億4,690万8千円の利益を計上しました。

次に資本的収入は、北伊勢工業用水道改良事業等に充当する企業債12億2,000万円や一般会計出資金26億3,509万7千円及び国庫補助金3億5,450万円です。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費27億1,722万2千円と企業債等の償還金37億6,153万2千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北伊勢工業用水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H17	168,782	168,782	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	H17	1,696,467	1,696,467	既設施設の改良

(4) 電気事業会計

電気事業は、宮川第1、第2、第3、長、三瀬谷、青蓮寺、大和谷、蓮、青田及び比奈知の10発電所において水力発電を、三重ごみ固形燃料発電所においてRDF焼却・発電をそれぞれ行っています。

平成17年度は、平成16年の台風21号の影響により運転を休止している水力発電所について、早期の運転再開に向け復旧整備を進めるとともに、三重ごみ固形燃料発電所において、年間を通じて安定的にRDFを処理するために必要となる新たな貯蔵施設の整備を進めます。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 335,375,994kWh

イ. 収益的収支	収入	4,420,464千円	資本的収支	収入	628,202千円
	支出	4,971,153千円		支出	1,377,884千円

収益的収入は、電力料28億8,608万5千円等の営業収益28億8,883万4千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業収益7億5,360万7千円、及び受託事業収益6億3,963万8千円等の営業外収益7億7,802万3千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用26億8,303万3千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業費用12億3,868万4千円、及び受託事業費6億3,963万8千円等の営業外費用10億4,743万6千円が主なものです。以上の結果、収支差引5億5,068万9千円の損失を計上しました。

次に、資本的収入は、水力発電所災害復旧事業に充当する企業債 3 億 5,000 万円と雑収入 1 億 7,933 万 4 千円、長期貸付金償還金 9,757 万 7 千円が主なものです。

資本的支出は、水力発電所災害復旧事業等の建設改良費 7 億 7,883 万 3 千円と企業債の償還金 5 億 9,905 万 1 千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の設備改良事業のほか、水力発電所災害復旧事業、川上発電所建設事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
水力発電所災害復旧事業	H16～18	1,328,265	699,000	三瀬谷発電所、長発電所 他
川上発電所建設事業	H11～20	1,678,000	4,374	最大出力 1,200kW

一口メモ

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。